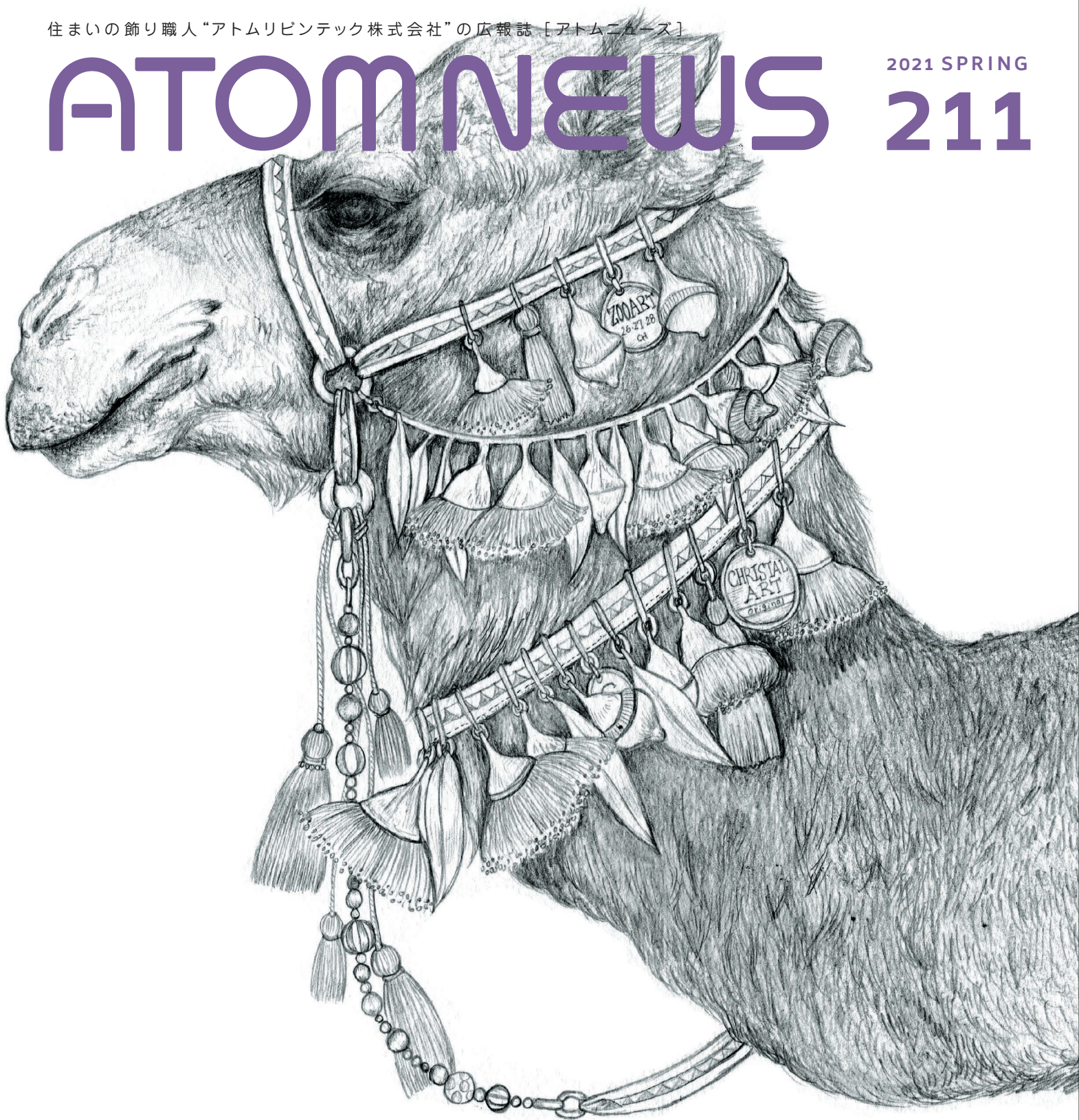


住まいの飾り職人“アトムリビンテック株式会社”の広報誌 [アトムニュース]

ATOMNEWS

2021 SPRING

211



つかってみると
なんだかうれしい
ここちいい



KANAGU

kanagu-store.com

すずがみ 11cm 角 ¥2,200 [税別]
Haori Cup ¥5,500 [税別]
南部鉄瓶 急須 ¥12,000 [税別]

ギャラリーショップ KANAGU 東京都港区新橋 4-31-5 アトムCSタワー1階 TEL.03-3437-7750 営業日・営業時間はHPをご覧ください

- 3 古今東西たてものがたり [特別編] 日本民家園 古民家めぐり
- 7 住まいの中の機構としくみ 歯車・後篇
- 9 石の神さま仏さま 春の光を招こうにゃん
- 10 ごとうゆきの トーキョー下町探検 台東区谷中界隈編
- 11 フォトエッセイ 人人の風景 vol.3
- 15 アトム商品INFORMATION リニアモーター式屋内用自動ドア
リニアエンジンMM30
- 17 IR INFORMATION アトムの株主優待制度
- 18 オフタイムの過ごし方

*新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る観点から、一部取材を自粛したため、
今号の「アテナの道具箱」を休載させていただきました。

今号の表紙 ラクダ×ユーカリ シルバープリンセス



砂漠の多いアラブ世界では、移動手段に欠かせないラクダ。砂漠の舟とも呼ばれていて、人々の生活する上での輸送手段としても重要でした。トルコでは「ラクダ相撲」という長い歴史を持つスポーツもあります。シルバープリンセスという花はユーカリの品種の一つですが、まるでそれがタッセルのように見えたので、ラクダの優しい目や表情を彩ってくれる、中東の装飾には欠かせないタッセルとラクダを組み合わせて描いた線画です。



堀田 真澄 [Masumi Hotta]

「ファッション&アート」のコンセプトを軸に、生活に身近に溶け込む雑貨などにもデザインを落とし込み、自身のブランド『クリスタルアート』独自の世界観を表現しています。ギャラリースhop KANAGUにも作品を展開していただいています。日ごろから、動物や植物のモチーフをデザインに多く取り込んでいます。今回のシリーズは、動物と植物とを組み合わせた「ZOOっとART(ずっとアート)」「Animals」の線画シリーズです。

読者プレゼント Present



● 箸置き 4 pieces

今回のプレゼントは、硝子作家・丸岡勇太さんの“pool”シリーズより箸置き 4 pieces。

光の揺らぐ「プール」を切り取ったようなこの作品は、ガラスの表面を不規則にカットすることで生まれました。差し込む光の角度によって、さまざまな表情を見せてくれます。

お箸をのせると、ずっと水面に浮かんでくるようなデザイン。毎日の食卓に静かなきらめきを添えてくれるでしょう。

また、使わないときには、箸置き同士を組み合わせで飾るのもおすすめです。窓辺に置くのもよいかもしれません。ゆらめくプールに反射して、暖かい春の陽が広がります。

[サイズ] 約40×46×4 mm / 1個 [材質] ガラス [販売価格] 7,800円＋消費税

巻末のハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3名様にプレゼントいたします。

締め切り 2021年4月30日(金)

● 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

ギャラリースhop KANAGU

職人・金属・手しごとをキーワードに、こだわりのアイテムを取り揃えています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



今回も「古今東西たてものがたり」は、コロナ禍に配慮して取材の「三密」を避け、生田緑地にある川崎市立・日本民家園へ。ここは急速に消滅しつつある日本の古民家を、永く将来に残すことを目的に昭和四十二（一九六七）年に開園した古民家の「野外博物館」。東日本を中心とした代表的な古民家をはじめ、水車小屋、船頭小屋、農村歌舞伎舞台など二十五件の建物が移築され、そのすべてが国や県、市の文化財に指定されています。

信州の豪農で名主の家

目の前に首都圏とは思えない緑豊かな自然が広がっていた。川崎市にある「生田緑地」である。かつての里山や農地、樹林と一体になった風景の中に、山林を



園内は「宿場」「信越の村」「関東の村」「神奈川の村」「東北の村」と、大きく5つのブロックに分かれている。ルートに従ってめぐり歩くと、途中には移築復元された水車小屋もある



切り拓いた「日本民家園」がある。

今回めぐり歩くのは、国の「重要文化財」に指定された古民家を訪ねるコース。まずは、ゆつくりと山道をたどり「佐々木家住宅」へ。

長野県南佐久郡の千曲川沿いにあった名主の家で、建築年代は享保十六（一七三一）年頃。寄せ棟造りの茅葺き屋根で、軒が高く長大なのが特徴。屋根の妻側は中二階の採光のために「かぶと造り」の構造。江戸時代から大正頃まで、この中二階で寺子屋が開かれていたという。

名主という立場上、代官所の役人を接客する機会が多く、客座敷に付属する形で風呂場が設けられた。ただし浴槽はななく行水用で、使った水は捨てずに溜め、田畑の灌漑用に。信州の豪農ではあったが、ふだんの暮らしは質素で、朝昼の食事は飯に味噌汁と漬物。夜は米を節約するために鰯鮎（うなぎ）が定番だったという。

佐々木家住宅

佐々木家は山あいの高冷地にあったが降雪量の少ない地方だったため、柱や梁は比較的細い材を使用。東の妻側の屋根は「かぶと造り」。武士の兜に似ていることから名づけられた



佐々木家では古くから養蚕を行っていた。蚕を飼って繭をとって出荷するかたわら、女性には機織り機で布を織るのが仕事のひとつであった



客座敷に付属して接客用として設けられた風呂場。桶や盥（たらい）にお湯や水を入れ、それを浴びて体を洗う行水用で、床の中央部に開けられた溝から排水された





江向家の土間には和紙作りの用具が置かれていた。手漉き和紙は漉き舟(すきふね)に原料繊維と水を入れ、簀桁(すけた)に掬い取って作られる

江向家住宅



囲炉裏の上に天井から吊された格子状の火天。「天棚(あまだな)」「火棚(ひだな)」とも呼ばれ、防火用に囲炉裏を覆うように設置されている



五箇山の合掌造りの民家

佐々木家を出て、右手の土階段を上り、合掌造りが美しい「江向家住宅」へ。

富山県と岐阜県との境に位置する越中五箇山の民家で、建築は江戸時代の中期。切り妻造りの茅葺きで、二階と三階は養蚕用に使われた。豪雪地帯だから柱や梁の材料が太く、屋根は急傾斜だ。

妻側に設けられた大戸口を入ると、右手に馬屋と味噌部屋。板壁で仕切られた左手の土間に、水が常時流れる水舟があり、大きな竈が据えられている。これは炊事ではなく、和紙作り用。五箇山では冬場に出稼ぎの留守を預かる女性たちが、楮を原料に和紙を漉いた。

江向家で目を引くのは、囲炉裏の上の火天という大きな棚だ。この棚は火の粉が高く舞い上がるのを防ぎ、濡れたものの乾燥用に利用された。雪国の庶民の知恵である。

九十九里浜の網元の家

山の坂道をたどり、トンネルを抜けて「作田家住宅」へ。

千葉県九十九里浜の名主で、イワシの地引き網漁の網元の家。江戸時代中期の建築で、寄せ棟造りの茅葺き。床上六室と土間からなる、当時の民家としては豪壮な居宅である。作田家では七十人ほどの船乗りや、網を曳くときだけ手伝う農民のほか、船大工、鍛冶屋、網職人、さらにイワシの加工業者まで抱えていた。イワシは食糧にもされたが、多くは干鰯や、粕に。いずれも即効性の肥料として、綿や藍などの栽培用に遠く四国や関西にまで出荷された。

家の中で特徴的なのは居間の梁組だ。松の曲がりくねった木材を巧みに組み合わせたもので、大工の見事な腕がダイナミックな造形美を生みだしている。ちなみに作田家の女性は外出のときに駕籠を使った。大戸口の間口は、その駕籠の棹の長さに合わせ決められたという。さすがに網元の家柄である。



展示用に置かれた漁具と、居間の天井部分にある豪壮な梁組。やや細身ではあるが、曲がりくねった松材を自在に組み合わせ、現代アートかと思わせる力強く生き生きとした造形美に圧倒される



江戸期の房総・九十九里浜はイワシ漁で賑わった。作田家は船1艘で漁をする「片手地引き網漁」ではなく、網船2艘を使った「大地引き網漁」を行っていた

作田家住宅

太田家住宅



太田家は煮炊き用の竈を置く土間と居住部分に、それぞれ別々に屋根をかけた分棟型。雨水は半割丸太の雨樋で屋外に排水した

土間に設けられた竈と「唐箕(とうみ)」。唐箕は臼などで粃殻をはずしたあと、手回しの風力で穀物を粃殻・玄米・塵などに選別する農具



二つ屋根の分棟型の家

さらに山道を歩き「太田家住宅」へ。

茨城県笠間市の名主と伝わる民家だ。

江戸時代中期の寄せ棟造り、茅葺きで、棟方向を別にする二つの屋根を持つ「分棟型」。

屋根と屋根が接する部分には谷間ができるが、そこに半割丸太をくり抜いた大きな雨樋を設けた。雨水を屋外に導き、排水する仕組みだ。とはいえ茅葺きだったため、ゴミが詰まりやすい。大雨のときは夜中でも梯子を掛けて屋根に上り、ゴミを取り除いた。

広い土間は農家にとって貴重な作業空間で、収穫した稲の脱穀や粃摺り、選別や精米を行った。漬物や味噌、醤油などの仕込みにも土間が使われ、神聖な仕事場として清浄に保たれていた。また食器や野菜の洗いや洗濯は、川べりの洗いや井戸端が使われた。石鹸や洗剤がない時代、洗濯には土や灰、サイカチの実などを利用したという。

山の小道を下り「工藤家住宅」へ。

岩手県紫波郡の旧南部藩領の農家で、江戸時代中期・宝暦年間に建てられた寄せ棟造り、茅葺き。現存する最古の「曲屋」のひとつである。

主屋の前に馬屋を突出させたL字型の「曲屋」は、南部馬の飼育が盛んになる江戸中期に工夫された形式だ。工藤家では二頭の馬を飼っていて、餌は藁や燕麦、葛の葉にフスマや米のとぎ汁を混ぜたもの。大切に育てながら農耕を共にした馬が亡くなると、馬の墓に埋葬し、藁で作った小さな馬と煮豆を供えて弔った。

主屋には天井がなく、土間から眺めると屋根裏が一望できる。部屋はすべて板の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

現存する最古の曲屋

山の小道を下り「工藤家住宅」へ。

岩手県紫波郡の旧南部藩領の農家で、江戸時代中期・宝暦年間に建てられた寄せ棟造り、茅葺き。現存する最古の「曲屋」のひとつである。

主屋の前に馬屋を突出させたL字型の「曲屋」は、南部馬の飼育が盛んになる江戸中期に工夫された形式だ。工藤家では二頭の馬を飼っていて、餌は藁や燕麦、葛の葉にフスマや米のとぎ汁を混ぜたもの。大切に育てながら農耕を共にした馬が亡くなると、馬の墓に埋葬し、藁で作った小さな馬と煮豆を供えて弔った。

主屋には天井がなく、土間から眺めると屋根裏が一望できる。部屋はすべて板の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

の間で、畳が敷かれ

工藤家住宅



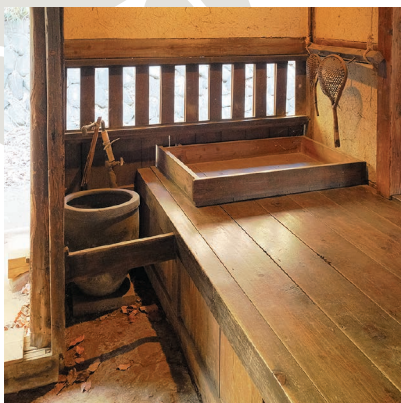
工藤家は日本民家園で最大規模の民家。旧南部藩領の古民家は、もともと天井のない家が多く、家の中に入って見上げれば屋根裏全体が見渡してしまう構造になっている

伊藤家住宅



江戸時代に名主を務めた伊藤家の大戸口には、魔除け用の「マグロの尾」が飾ってあった。災いの侵入を防ぐという祈りがこめられている

土間は建築時に叩き固めたときの土の密度や保水状態などによって、長い間暮らしているうちに表面に凸凹ができ、独特の風合いが生まれる



座った姿勢で台所仕事ができる「すわり流し」と水瓶のある炊事場。目の前にある無双窓は、板のすき間を開けると採光、通風に利用できる



細い丸竹を敷き並べた竹簀の子の床。天井も竹簀の子で、手に入れやすく加工のしやすい竹が、この地の民家にとっては便利な建築材料であった

土間で鶏を飼った農家

民家園めぐりの最後は、山道を上って「伊藤家住宅」へ。神奈川県川崎市の多摩丘陵にあった農家で、「日本民家園」

た部屋は一間だけ。冬場は囲炉裏の火で家全体を暖めながら過ごした。周辺は雪の多い地域ではなかったが、冬の冷えこみは厳しかったに違いない。

誕生のきっかけとなった建物だ。

江戸時代中期に建てられ、多摩丘陵地方に多く分布する入母屋造りの茅葺き屋根。大戸口の梁に掲げられた「マグロの尾」は魔除け用。災いの侵入を防ぐため家の入り口にはさまざまな魔除けが置かれたが、マグロは水中生物として火災除けの意味も含まれている。

広間は丸竹を敷き並べた竹簀の子の床。ごつごつした足ざわりで、風の強い日は隙間風が吹き抜ける。この地域の農家では、周辺で手に入る竹を板材の代用とすることも多かった。

土間では鶏を飼い、夜は土間の上に吊った丸太が鶏たちの止まり木となった。朝は午前三時頃に一番鶏が、午前四時頃には二番鶏が鳴く。それを合図に起床し、農家の一日が始まったという。

INFORMATION

川崎市立 日本民家園

- 所在地：神奈川県川崎市多摩区枳形7-1-1
- TEL. 044-922-2181
- 開園時間：9:30～17:00（11～2月は～16:30）＊入園は閉園30分前まで
- 休園日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開園）
祝日の翌日（祝日の翌日が土日・祝日の場合は開園）
年末年始（12月29日～1月3日）
- 入園料：一般500円（20名以上の団体400円）
高校・大学生300円（同・240円） 中学生以下無料
65歳以上300円（同・240円）＊市内在住の65歳以上は無料
- 交通：小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口から徒歩約13分
JR南武線「登戸駅」生田緑地口から徒歩約25分
- ホームページ：https://www.nihonminkaen.jp/



伊藤家の近くにある「養蚕山祠堂（こかげさんしどう）」。養蚕の神様を祀ったお堂で、養蚕が盛んなころ地域の信仰を集めていた。文久三（1863）年の建築で川崎市重要歴史記念物に指定されている

ふと気づけば「日本民家園」めぐりを始めて、すでに二時間近く。古民家という建物には、こうした生活の息づかいや、家族の歴史が色濃く刻みこまれていた。そこに住んだ人々の「暮らし」の情景が、心に懐かしくよみがえってくるのである。

さまざまな現場でさりげなく使われているモノたちのしくみを知る

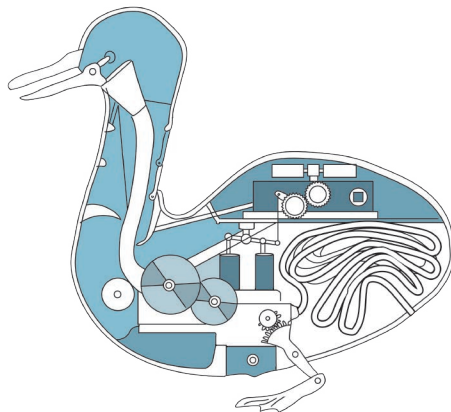
歯車・後篇

歯車の話は、一般の人には少しマニアックに聞こえるかもしれませんが、歯車がなければ現在、社会は動きません。歯車はまさに「縁の下の力持ち」なのです。今回はヨーロッパで発展した『オートマタ』や日本独自に進化した『木製の歯車』をはじめ、さまざまな歯車を紹介します。

住まいの中の
機構としくみ

その昔、ヨーロッパで発展した 金属の歯車

歯車を利用した仕掛け人形を日本ではからくりと呼びますが、ヨーロッパではオートマタ、またはメカニクと呼んでいます。



からくり(オートマタ)の一例
『消化するアヒル』

ヨーロッパではからくりが、12〜19世紀に数多く作られ、その精密さによって脚光を浴びました。からくりの動力には、おもに大きなものでは水力が、小さなものではゼンマイが用いられました。動きの伝達には、当時から金属の歯車が数多く使われていました。

18世紀頃になると、当時の創作者たちは創作意欲の羽を広げて、精巧なからくりや人造人間的な作品(オートマタ)を作るまでになったのです。

なかでも『消化するアヒル』という作品は、アヒルが飲んだり食べたりしたものが、体内で消化・排泄されるという、伝説的なものでした。当時のヨーロッパでは教会の時計などにも、ゼンマイ仕掛けのからくりが取り入れられていました。しかし宗教界から「人間が、人間を造ろうとするとは何事か。人を創造できるのは神のみである」という批判が高まったのです。その後、ヨーロッパでは精密な人間を模したゼンマイ仕掛けからくりの文化は衰退していきましたが、産業革命の基礎を築いたのです。

木製の歯車に秘められた真実

木目の強い縦の向きでそろえて寄せ木にすることで強度を出していたのです。

そうだ、大きさには限界があるが、縦向きの木目の強さを利用すれば、木でも歯車ができるぞ!



強い

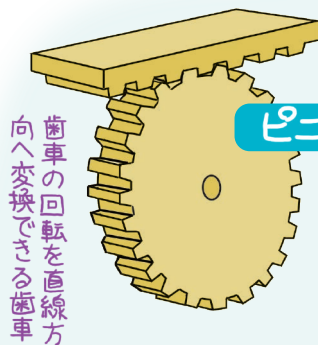
弱い

日本で発展した木の歯車がとても ミラクルです

日本の木製歯車の文化は江戸時代の鎖国が大きく影響しています。金属の歯車に関する情報は、鎖国の前に時計を通して日本に流入していましたが、数が少なく、一般の人が目にすることは限られていました。鎖国により、手に入りづらくなった金属の歯車の代替案として、なんと木材を使うことにしたのです。

幸いなことに日本には豊富な種類の木々が自生しており、とくに硬い花梨などを使い、日本独自の木製の歯車文化の発展につながることになったのです。

ラック



歯車の回転を直線方向へ変換できる歯車

ピニオン

かみ合わせの音が静かでオルゴールや望遠鏡、顕微鏡などに使われている。また逆回転しない点が特徴

ウォームギヤ



かさ歯車

交わる角度は90度



狭い空間で縦軸から横軸へ回転を変換することができる

ねじ歯車

平行でもなく交わりもしないで回転軸の方向を変えられる



平歯車

歯すじが軸に対して平行な直線である歯車で、回転の方向と速度を変えられる



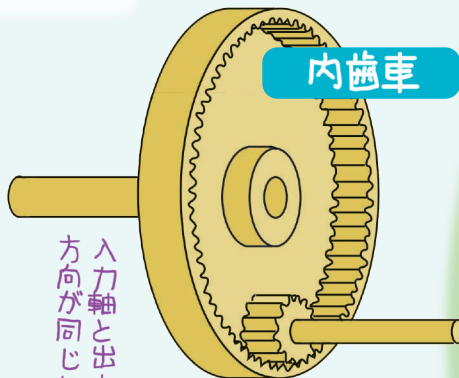
はすば歯車

らせん形の歯車でお互いの接着時間が長いので、音が静かでトルクの変動が少ない

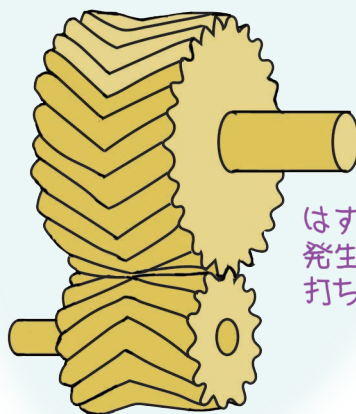


内歯車

入力軸と出力軸の回転方向が同じになる歯車



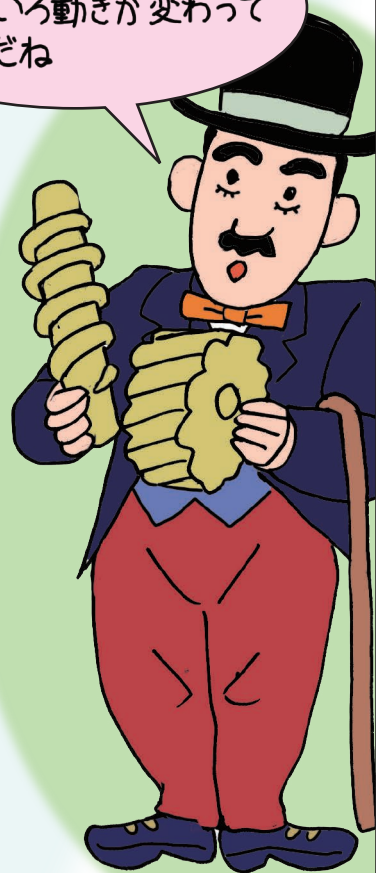
やまば歯車



はすば歯車の軸方向に発生する推力をお互い打ち消しあう構造

＊ここに描かれている歯車は、少しデフォルメされています。

歯車も組み合わせによっていろいろ動きが変わってくるんだね



気になる木のはなし 10

ウォールナット(くるみ)

ウォールナットは寒冷な気候を好むために、日本国内で使われているその多くがロシアのシベリア地方で伐採され、日本に航送されています。そのほかにもアメリカ北部から入ってくるアメリカンブラックウォールナット(家具材のロールスロイスと言われる)などがあります。ウォールナットは茶褐色の油分を含んでおり、その奥行き感のある色合いによって人々に好まれてきました。この色合いが生まれる決め手となるのがウォールナットが育った土地の土質(成分)と言われています。その色合いを生かしたテーブルや椅子は高級家具として販売されています。また、肌触りの良さと硬さからライフル銃の銃床にも使われています。

監修 石塚典男(木香家)



塩浦 信太郎

信太工房主宰／カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作、ほかにデパート各店での展示販売などを行っている

春の光を招こうにゃん

東京都渋谷区 長泉寺 招き猫



世の中がたいへんなことになって

かれこれ一年たつね。

僕たちの猫の世界にも、

予期せぬ禍がやってくることはよくあったよ。

だけど、いつか必ず黒雲が晴れて光が見える時が来るから

僕たちはいつも手を上げて呼んでいるんだ

みんなも、誰のせいでこうなったのかなどと

後ろ向きのことばかり考えるのをいったんお休みにして

上を見て、新しい光を呼んでみたらいいよ。

どんな時だって、春の光はあたたかくて素敵で、

それだけで困難を乗り越える力を与えてくれるんだから

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神さま・仏さま。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、何かを語りかけてくれます。

招き猫 [東京都渋谷区 長泉寺]

表参道と明治通りの交差点付近。ファッションの街に、こんな大きなお寺があったのかと驚きます。この猫ちゃん、山門を入ってすぐのところで福を招いています。境内は奥深く、山手線の線路脇の斜面まで続きます。そこに各種の石仏がぎっしり並んでいて、さらにびっく。ここは本当に原宿なのでしょう。

● JR原宿駅より徒歩8分

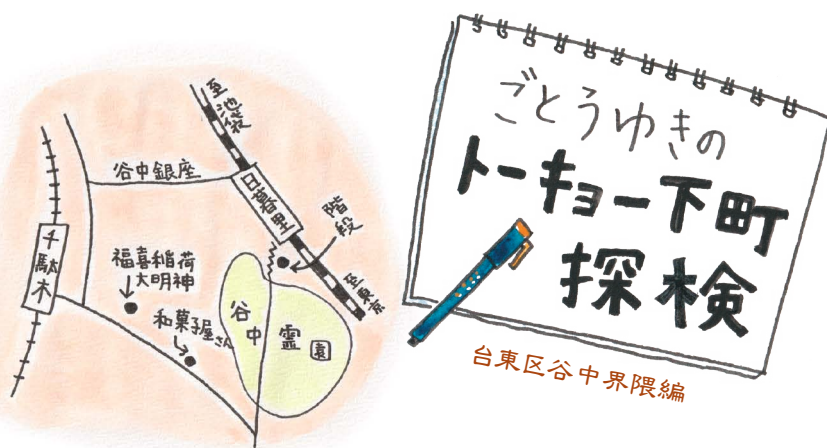


文・写真 吉田さらさ

寺と神社の旅研究家。日本各地に取材し、石の神様、仏様の像の写真を撮って「お言葉」を考えるのがライフワーク。『明日がちよっと幸せになる お地藏さまのことば』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、『石仏・石の神を旅する』、『長崎の教会』(いずれもJTBパブリッシング)など、著書多数

関西出身の旅スケッチ画家が
気ままに歩いてみつけた東京下町の日常を
その場でスケッチしていきます。

今回は、台東区谷中界隈を歩いて
みました。あちこちに残る
戦前の日本家屋が今もしっかり
活躍してる光景はとても魅力的です。



日暮里駅南側を
出たら、すぐに階
段があった。大き
な楽器を運んでる
のは芸大の学生さ
んだろうか。坂下
では駅のアナウン
スガズッと聞こえ
てるのに坂の上は
大きなお寺と、見
渡す限り広大な
墓地！これが東京
23区内の駅前か
とびっくり。



小さな和菓子屋さん。
昔からやってますよと
いわんばかりの気取り
のない店構えに親しみ
を感じる。描いている
間中、ちよくちよくお
客さんが入っては軽く
おしゃべりして帰って
いくんだけど、こうい
う光景って下町ならで
はじゃないかな。私も
スケッチの話をしなが
ら大福買って帰った。

路地を探検中、家と家との隙間に足の
なごい鳥居を発見。福喜稲荷大明神
って名前がまたいい。



旅スケッチ画家 ごとう ゆき
1967年、兵庫県明石市に生まれ育つ。
現在は練馬区を拠点に活動中。
古い街並みや自然の中を歩いたり
スケッチするのが好き。全国にある
疎水のスケッチルポなども担当



人 人 の 風 景

vol.3

—Scene of distance—

私達が紡いだ風景。
そっと見守り集めた
静かな時間の片鱗。

写真・文 吉田周平





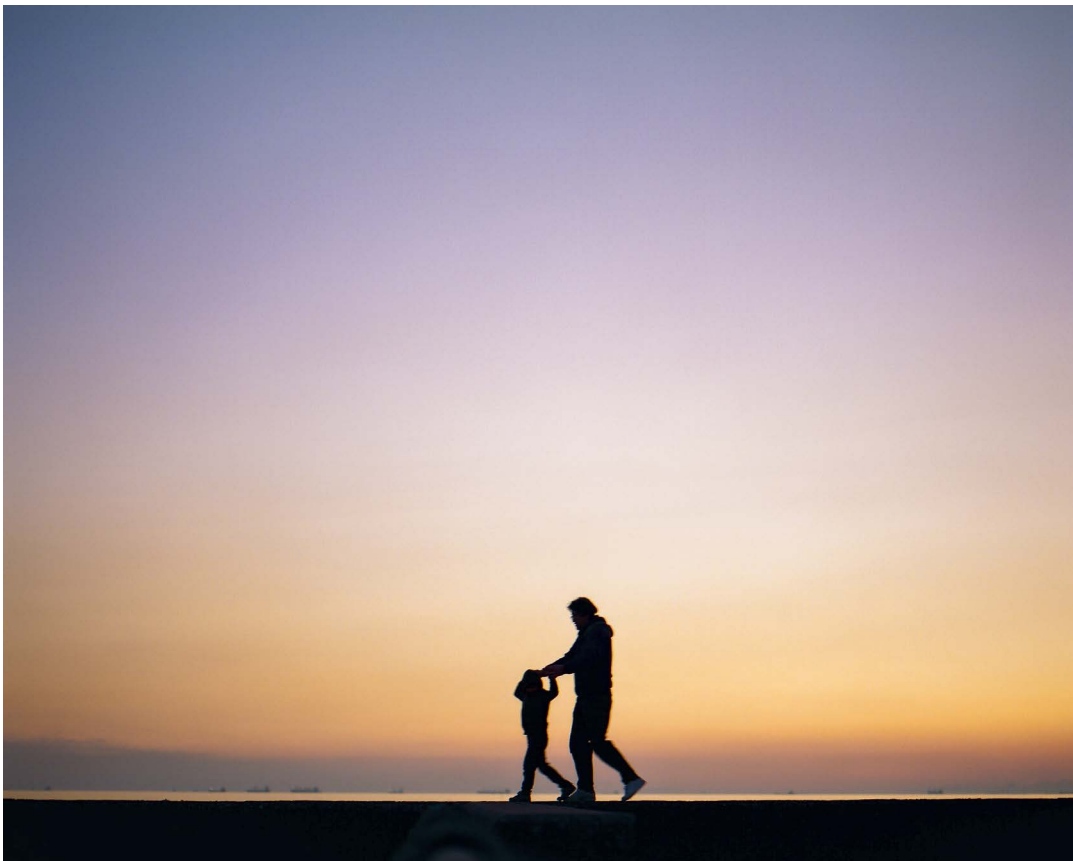
遠くから旅してきたのだろうか
琵琶湖にて



微かな風が吹いていた



同じ夕陽を見ていた



細く長い防波堤を一緒に歩いてゆく

暮らしに寄り添う次世代テクノロジー

リニアモーター式屋内用自動ドア リニアエンジンMM30

見た目はまるで、ふつうの引戸。じつはリニアモーター内蔵、わずかに力を加えるだけで自動で開閉します。モーターやコントローラーは引戸上部のレール内に内蔵されているので見た目もすっきり、メンテナンスも簡単です。引戸は上吊りで床にはレールがなくフラットになっているため、つまずく心配もなし。車椅子も通れます。また、停電時には手動でスムーズに開閉可能。もしものときにも安心です。

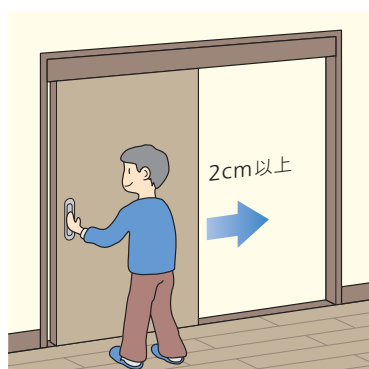
動画はこちらから
スマートフォンで
ご覧いただけます



リニアエンジンMM30の標準機能

アシスト起動

戸を少し開けると、自動で開閉します。停電時はリニアエンジンによる抵抗は解除され、ふつうの引戸と同じように手動で開閉ができます。



1 戸を開く方向に少し(2cm以上)動かしてください。



2 アシスト起動が働き、戸が自動で全開します。



3 自動的に閉まります。

補助センサー

戸が全開したときに働きます。人が通過中の間は全開のままを保持します。

セーフティーリターン機能

戸が閉まる途中で、戸が人や障害物に当たったときは、コントローラーで検知してすぐに反転して全開します。

セーフティーストップ機能

セーフティーリターン後、人や障害物が残っている場合は、再びコントローラーで検知して全開し、そのあと戸が停止し続けます。

全開保持機能

戸を全開状態にしておくこともできます。

POINT 1

選べるオプションスイッチ

戸を少し開けると自動で開閉する「標準機能」に、オプションスイッチを追加することができます。

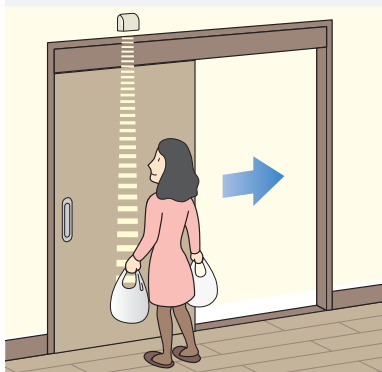
*オプションスイッチは扉には設置できません

スポットセンサー

非接触



縦64.7×横74.2×厚さ31mm



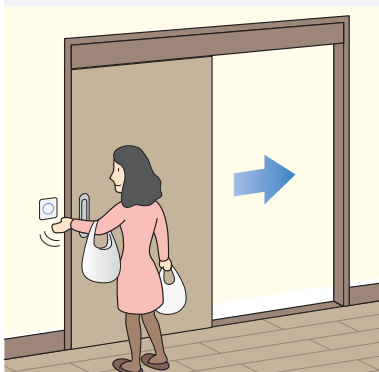
主に枠上の壁面に設置します。検知エリア内で人や物を検知すると、戸が自動で開きます。両手がふさがっていても、戸の開閉ができます。

NEW クリーンスイッチ

非接触



縦88×横88×厚さ11mm

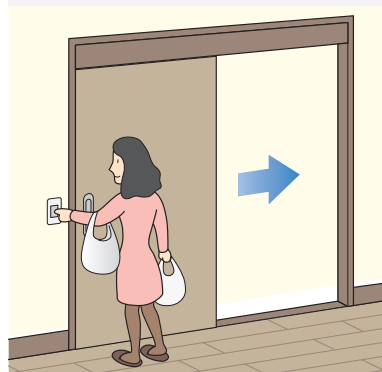


主に手元の高さの壁面に設置します。スイッチ付近に手をかざすと、戸が自動で開きます。

タッチスイッチ



縦120×横70×厚さ10.2mm



主に手元の高さの壁面に設置します。ボタンを押すと、戸が自動で開きます。

POINT 2

新商品 クリーンスイッチ

スイッチ付近に手をかざすとセンサーが反応し、引戸が自動で開きます。非接触式なので、引戸やスイッチに手を触れることなく通行ができます。

非接触



LED 搭載

LED色により、待機中と動作中の状態を視認できます。色は、青、赤、緑、消灯から設定変更ができます。

調整機能

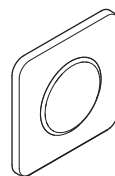
LEDの明るさや、センサーの検出範囲を調整することができます。

オプション
化粧プレート

標準化粧プレートは「ハンド」となります。イラスト表示がない「blank」も別売りでご用意しております。



標準化粧プレート
「ハンド」



別売化粧プレート
「blank」

これらの商品は、アトムCSタワーおよびアトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所にてご覧いただけます

要・事前予約

アトム株主優待制度

アトムリビンテックでは、株主・投資家の皆さまのご支援に感謝するとともに、今後も中長期的に当社の株式を保有していただくことを目的に「株主優待制度」を導入しています。優待の内容は、QUOカードと「当社関連商品の特別割引」の2本建てとなっています。

当社関連商品の特別割引は、職人の技によるインテリアグッズや日用品のギャラリーショップKANAGUから選定

した20品目を20%割引にてご提供させていただきます。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

*特別割引の対象は、毎年6月末日の当社株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上を保有する株主さまです。
対象となる株主さまへ「20%割引券兼用ハガキ」を送付いたします。

株主優待内容

1 QUOカード または寄付



保有株式数

継続保有期間

		1年未満	1年以上
100株(1単元)以上	300株(3単元)未満	—(対象外)	500円分
300株(3単元)以上	500株(5単元)未満	1,500円分	2,000円分
500株(5単元)以上	1,000株(10単元)未満	2,500円分	3,500円分
1,000株(10単元)以上		5,000円分	7,500円分

2 当社関連商品の 特別割引

当社が指定する
商品を定価の
20%割引
にてご提供



など
20品目

*詳細は弊社ホームページ(下記アドレス)をご参照ください

www.atomlt.com/ir/stockholders/shareholders

当社の優待制度では、幅広い株主さまのご意向にお応えするため「QUOカード」または「寄付」のどちらかをお選びいただけることになっています。「寄付」をお選びいただいた場合、社会貢献活動の一環として日本赤十字社へ寄付をいたします。



わたしたちは日本赤十字社の活動を支援しています。

アトムリビンテック株式会社 会社概要

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 創業
1903年(明治36年) 設立
1954年(昭和29年) 代表者
代表取締役社長 高橋 快一郎 | <ul style="list-style-type: none"> 資本金
3億74万円(2020年6月期末) 従業員数
123名(2020年6月30日現在) 本社所在地
東京都台東区入谷1-27-4 | <ul style="list-style-type: none"> 年商
103億9,400万円(2020年6月期) 事業内容
内装金物(住まいの金物)全般の企画・開発・販売 |
|--|--|--|



当社の業績概況や事業戦略にスムーズにアクセス! アトムリビンテックの「株主・投資家情報」サイトをぜひご利用ください。

www.atomlt.com/ir

読者の声

国立天文台の近辺に住んでいるわけではありませんが、私用、業務と天文台の前を通ることがあり、いったい中はどうなっているのかと興味がありました。いちど見学してみたくなりました。
〈東京都 なかさん様 男性〉

ページを繰りながら私のささやかな生活圏を改めて見つめたり、ミニトリップに出かけようかと考えたり…。読むことが楽しい貴誌を今後も楽しみにしています。
〈神奈川県 S・S様 女性〉

名建築の中の建具や家具などでオリジナルの金物や工夫を凝らした造作などに絞って取り上げてほしい。

〈茨城県 RINGHIO様 男性〉

210号の「住まいの中の機構としくみ 歯車・前篇」を興味深く拝見しました。金属のみならず、特殊プラスチックなどさまざまな素材が使われていること、多層構造により多様性を持たせることが可能であることなど、知らないことがよくわかりました。後篇も楽しみにしております。
〈香川県 K・E様 男性〉

「切手で巡る世界の旅」はステキな切手でした。世界にはご当地ならではの面白い切手の数々があり、世界を旅する時にステキな切手に出会った時は思い出の一部として、時折、購入します。世界を旅することも難しくなった今日、このような形で世界を感じることができてとても楽しい企画だと思っております。
〈千葉県 彩様 女性〉

誌面のリアモーター式自動ドアに興味を持ちました。詳細な収まりや、一般自動ドアとの違い、コスト、デザイン性のバリエーションなど、実際、どのような施設で使えるか、詳しい内容を知りたいと思いました。
〈北海道 K様 男性〉

編集後記

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出で、オンライン上でさまざまな動画が配信され、動画を見る時間が急激に増えました。今までならチケットが取れず、泣く泣く諦めていたライブなども自宅から参加することができ、さらにアーカイブ配信で期間中に何度も見られることも得した気分になりますが、やっぱり会場に行って生で見たいですね。他にも配信が増えてよかったと思っただけ、今まで見に行けなかったジャンルのものも気軽に見られるようになったことです。コロナが終息したら実際に会場に足を運んでみたいと思うものも多く、終息後の楽しみができました。
〈Ruby〉

INFORMATION

CADデータがダウンロードできます

住まいの金物のCADデータを掲載しております。
無料会員登録をしていただければ、350点以上のデータがダウンロード可能です。ぜひご利用ください。

☞ www.atomlt.com/caddata

アトム社員がリレーでお届け オフタイムの過ごし方

Vol.55



特販事業部 小西 一平

特需営業を担当し
既存商品にとらわれない
開発・提案などにも携わる

私のオフタイムは、漫画を読むことです。どちらかといえばインドア派なので、定期的に漫画を買って読み漁っています。好きな漫画は『週刊少年ジャンプ』の作品が多く、これまで購入したところがある単行本は、ほぼ『ジャンプ』の作品でした。2020年は『鬼滅の刃』が大ヒットし、私も全巻読破しました。個人的に一番好きな漫画は『ONE PIECE』です。私が小学生の時から始まり、成長とともに読み続けているので、同じ年代の方にとっては、自分の一部といっても過言ではないかもしれません。

漫画を書店で購入する場合、持ち帰りができる冊数しか選べないため、新しい漫画でも数日に分けて購入していました。しかし1巻目を読み始めると、すぐに次の巻の内容が気になってしまい、翌日にも続きを購入してしまいます。学生の頃は、全巻買いができるほど余裕はないので、友人に借りたり、読んだ感想を聞くなどしてから厳選して購入していましたが、社会人になってからは、学生時代に購入できなかった漫画を買い始めました。漫画を買っても、次第に置く場所に困り始め、最近では電子書籍を選ぶようになりました。はじめは電子書籍に抵抗がありました。紙の本に比べると全巻揃えた際の喜びは薄く、データがなくなった場合の心配もありましたが、持ち運びしなくていいので全巻買いをしやすく、常に購入できるなど、電子書籍の良さが今の状態にあっており、買いすぎて困るほど利用しています。電子書籍を選ぶようになってから、これまで購入した漫画に加え、単行本を買うまでではないが気になっていった漫画も購入するようになりました。

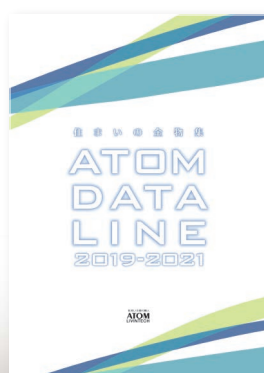
コロナ禍で、外出自粛の世の中ですが、電子書籍で学生時代に好きだった作品を読み直してみてはいかがでしょうか。



コレクションの一部です

個人情報の取り扱いについて

読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、プレゼント発送のほか、商品情報や弊社個展の招待状等の発送に利用させていただく場合がございます。これらの発送停止をご希望される場合には、速やかに対応いたします。詳しくは弊社HPのプライバシーポリシーをご覧ください。



人に寄り添い 住まいを飾る



www.atomlt.com/catalog/

住まいの飾り職人

ATOM
LIVINTECH

アトムリビンテック株式会社

■本社／〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)

特 販 事 業 部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833

卸 売 事 業 部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435

■アトムCSタワー／〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5

アーバンスタイル事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-3565

亜 吐 夢 金 物 館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所／〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5
TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282

■札幌営業所／〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F
TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015

■前橋営業所／〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7
TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661

■広島営業所・C/Dセンター／〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8-6
TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880



www.atomlt.com

「ATOMNEWS」2021年3月号 Vol.211 ●編集・発行／アトムリビンテック(株) ATOMNEWS編集室 〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4

★次号212号(夏号)は2021年6月発行です。本誌は再生紙・ベジタブルオイルインキを使用しています。